町内の震災ガレキも順調に片付けています

松原公園周辺もガレキはほぼ無くなり、志津川病院跡地に仮置していた再生砕石も路盤材として再利用して無くなっています。

歌津地区や志津川地区の一次仮置場のガレキ撤去が進み、波伝谷漁港のガレキ撤去にも取組み漁港部分はほぼ完了しました。

冬道の安全運転「1・2・3運動」

通勤時の事故防止に積極的に参加しています。

進捗状況航空写真

団らん室を御利用下さい

中間処理作業を進める中で、様々な『思い出の品』がガレキの中から発見されています。

現在、ＪＶの保管所で保管していますがガレキの中から発見された物ですので、状態が余り良くありません。

そこで、その品々を写真に撮り、団らん室の壁面に番号を付けて『思い出の品コーナー』として掲示しております。心当たりのある方は、是非お立寄りになってご覧いただきたいと思います。

皆様に関係するものがあれば、ＪＶ山田までご連絡をいただければ対応致します。

団らん室は国道３９８号沿いにあり、日曜日を除き８時30分～17時まで自由にご利用出来ますのでご覧下さい。尚、専用駐車場も完備しております。もしも施錠されていた時は、入口のガードマンに声を掛けていただければ解錠します。

この中に展示してあります

団らん室内部（写真掲示状況）

現場内の保管場所

現場内に設置してある保管場所では、スチール棚にビニール袋に梱包してありますが、傷みのの激しいものばかりですので、なるべく早目にいらしてご確認いただければと願っております。

この中に保管してあります

保管状況

南三陸処理区ニュース

発行　気仙沼ブロック（南三陸処理区）
災害廃棄物処理推進連絡協議会

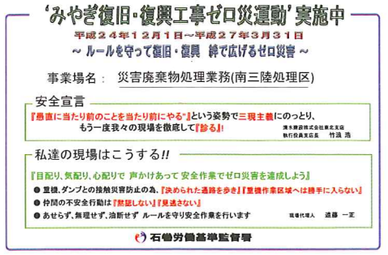
連絡先
清水・フジタ・鴻池・東亜・青木あすなろ
・錢高・浅野　特定業務共同企業体
〒986-0781　南三陸町戸倉字水戸辺148-2
TEL　0226-47-3128

職場の安全とスピーディな処理を願い安全祈願

１月７日(月)に地元の戸倉神社の神主齊藤さんに事務所に来ていただき、ＪＶ職員と協力会社職長全員が参列して今年の作業の無事を願い安全祈願を行いました。

ＪＶは「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」に参加しています

今年も無災害で作業を進める為、関係する協力会社も各社独自の安全宣言をしております。



焼却炉・手選別作業に続き『土壌洗浄工事』も昼夜２交替で稼働を始めました

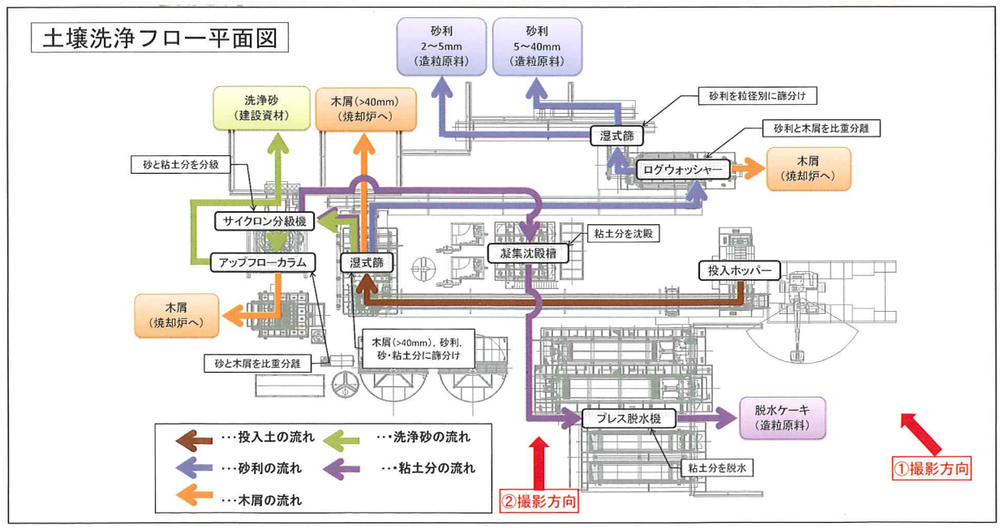
【土壌洗浄の目的・効果】

混合廃棄物から選別された土砂や搬入された津波堆積物は土砂が主体であり、その中には細かい廃棄物を含んでいます。その土砂を復興資材の土砂として品質を向上させる為に、土壌洗浄プラントで洗浄し廃棄物と土砂との分離を行い、初めて盛土材としてリサイクル可能となります。

当初予定していた以上にガレキ内に土砂が多く含まれていた事と、今後農地等から発生するガレキ混じり土砂も搬入が予想される事から、昼だけの稼働では処理し切れないとの判断で昼夜２交替の体制を取り、対応することになりました。

これからもＪＶは変化する状況に応じて対処していく所存ですので、地元の皆様の変わらぬご支援をお願い致します。

■中間処理の進捗状況

平成25年1月16日現在

搬入済ガレキ数量	154,235t
選別した数量	40,492t
焼却した数量	17,383t
造粒した数量	5,978t
土壌洗浄した数量	7,956t